



ファミリーセンター2階 ☎43-0390

開館時間：午前10時～午後6時

休館日：毎週月曜日・第3日曜日・年末年始

図書貸出：1人3冊まで(最長2週間)

ファミリーセンターロビーにて、雑誌閲覧コーナーを開放しています。ぜひご利用ください♪



平成28年に多く借りられた本ベスト3！ ～あなたは読みましたか？～

(八百津町中央図書室調べ、平成28年1月～12月の期間)

【子ども向け】

BEST 1



きえた!? かいけつゾロリ
原ゆりか／作・絵 ポプラ社刊
たいへんです。かいけつゾロリがゆくえふめい。双子のイノシシ、イシシとノシシは必死に探しますが、見つけ出すことができません。小学生に大人気のかいけつゾロリシリーズ第58弾。

BEST 2



とんでもない
鈴木のりたけ／作・絵 アリス館
ぼくってなんのとりえもない、という男の子。すると「とんでもない」と動物たちが…。それぞれの悩みをユーモラスに描きます。読み聞かせにもおすすめの1冊です。

BEST 3



ノラネコぐんだん おすしやさん
工藤ノリコ／著 白泉社
まわるおすしが気になったノラネコぐんだんが、またまたなにやらたくらんでいるようです。夜中にこっそりおみせにしのびこみ、ニャーニャー、ドッカーンと大あばれ！大人気シリーズです。

【一般向け】

BEST 1



人魚の眠る家
東野圭吾／著 幻冬舎刊
答えてください。娘を殺したのは私でしょうか。過酷な運命に苦悩する母親。その愛と狂気は成就するのか。愛する人を持つすべての人に捧げる、感涙の東野圭吾ミステリー！

BEST 2



羊と銅の森
宮下奈都／著 文藝春秋刊
2016年本屋大賞、キノベス第1位など、数々受賞した人気作。ピアノの調律に魅せられた一人の青年。彼が調律師として、人として成長する姿を温かく静謐な筆致で綴った、祝福に満ちた長編小説。

BEST 3



坂の途中の家
角田光代／著 朝日新聞出版
刑事裁判の補充裁判員になった里沙子は、子どもを殺した母親をめぐる証言にふれるうち、いつしか彼女の境遇に自らを重ねていくのだった。家族であることの心と闇に迫る心理サスペンス。